

浜松市デジタル・スマートシティ構想の改定について

1 報告趣旨

- 今年度で第一期「浜松市デジタル・スマートシティ構想」が終了するため、第二期（2025年度～2029年度）案を報告するもの。
- 今年6月の総務委員会において第二期は現行の内容を大筋で踏襲するため、パブリックコメントは実施しない旨を報告済。

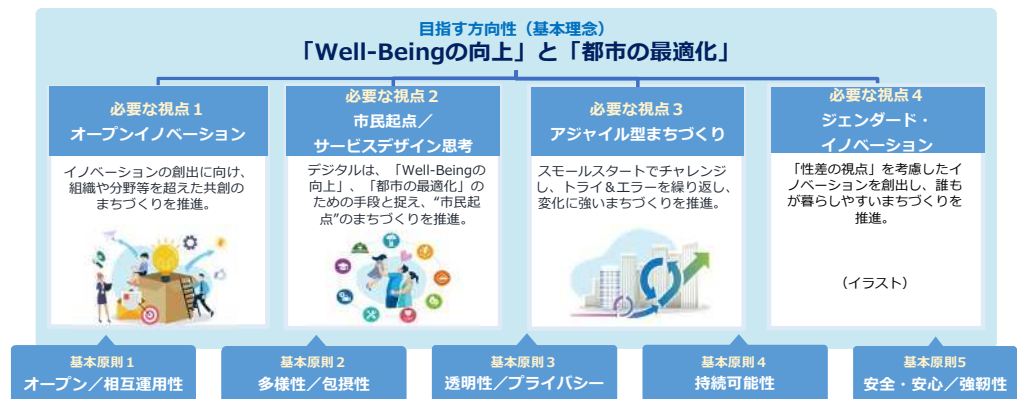
2 改定内容

第二期案は、別紙のとおり。主な改定内容は、以下のとおり。

目指す方向性 (基本理念)	「市民 QoL（生活の質）の向上」 「都市の最適化」	目指す姿の 具体化	「Well-being の向上」 「都市の最適化」
	「必要な視点」として「ジェンダード・イノベーション」を追加 ※ジェンダード・イノベーション 性別や社会的性差（ジェンダー）の観点を研究開発に組み込むことで、より包括的で効果的なイノベーションを生み出すアプローチ		
推進体制	「浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム（以下「PF」）」の役割などを見える化するとともに、バックキャスティングの視点を取り入れ		
デジタルで “繋がる未来”の概観	(2044 年の将来像) イラストを描き起こし、説明文を修正		
重点 取組分野	デジタル庁の「地域幸福度（Well-Being）指標」の考え方を取り入れ、次の 4 つのカテゴリーに分けて整理（「地域幸福度（Well-Being）指標」を構成する 3 つの因子群に応じたカテゴリーとして整理） ① <u>人と人・心と心をデジタルで紡ぐ</u> (Connected-City) ② <u>あなたの挑戦がまちをアップグレード</u> (Challenging-City) ③ <u>データが導く暮らしやすさ</u> (Liveable-City) ④ <u>ハード（強さ）とソフト（やさしさ）の共生で未来を守る</u> (Resilient-City) ※具体的な取組内容は、今後 5 年間の取組を、各課及び PF 会員にヒアリングし、その結果を踏まえたものとしている。		

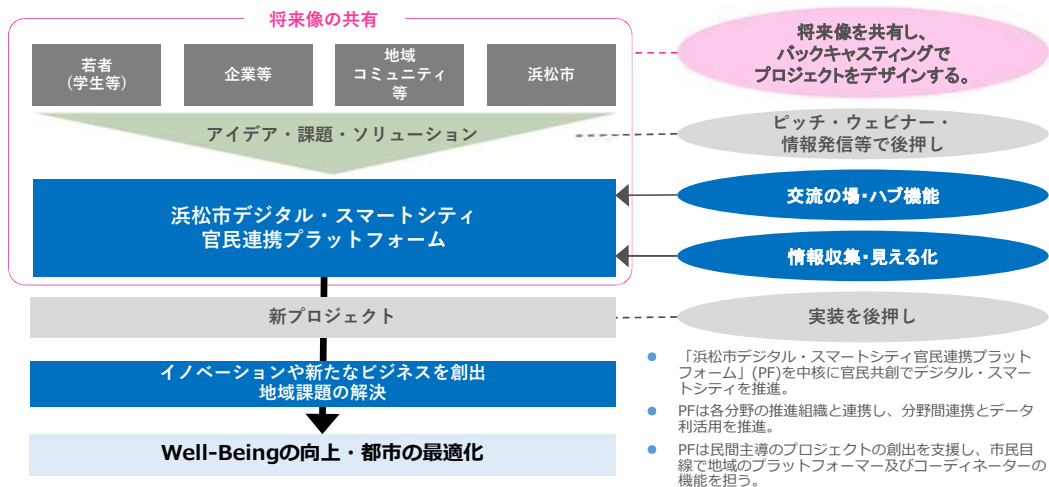
将来像 ～ デジタルで“繋がる未来”を共創 ～

人口減少・少子高齢化やインフラ老朽化や自然災害への備えなど課題がある中、デジタルの力を最大限に活用し、「Well-Beingの向上」と「都市の最適化」を目指し、デジタルで“繋がる未来”を官民で共創します。



推進体制

「浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム」を中核とした官民共創により、「イノベーションや新たなビジネスを創出」と「地域課題の解決」を推進します。



デジタルで“繋がる未来”の概観

デジタルの力を最大限に活用し、「課題解決型のアプローチ」と「未来に夢と希望を持てるチャレンジ」を組み合わせることで、ヒト・モノ・コトを繋ぎ、“繋がる未来”を創造します。



第二期（2025年度～2029年度）における重点取組分野

A Iをはじめとしたデジタルの力を最大限に活用し、官民共創により、バックカスティングでデジタル・スマートシティ浜松を『進展』させます。

①人と人・心と心をデジタルで紡ぐ （Connected-City）

多様性・包摂性

- 次代を担う若者世代の巻き込み
- 関係人口の拡大や多拠点居住の促進
- オンラインプラットフォームを活用した子供・若者等への意見聴取
- 市政情報等のオープンデータ化の促進
- オープンデータプラットフォーム（ODPF）の拡充と利活用
- デジタル活用による移住の促進

観光

- デジタルマーケティングの活用による食や自然・歴史文化など観光資源の情報発信
- ビッグデータを活用した観光マーケティングの推進
- デジタル技術を活用した観光周遊の促進

②あなたの挑戦がまちをアップグレード （Challenging-City）

産業（ものづくり・農林水産業）

- スタートアップと地域企業との連携プラットフォームによるオープンイノベーションの推進
- 中小企業の生産性向上に向けたDX推進・イノベーション創出
- ICT企業誘致による地域産業のDX推進
- ロボット技術やICTなどの先端技術を活用したスマート農林水産業の推進
- 高校生等を対象としたデジタル人材育成の推進
- デジタル分野におけるリカレント・リスキリングの強化

音楽文化・エンターテインメント

- デジタル技術を活用した文化事業の実施
- インターネットを活用した音楽文化等の発信と多国間プログラムの推進
- エンターテインメントの新たな楽しみ方の創出と普及

目指す方向性
（基本理念）

Well-Beingの向上

都市の最適化

④ハード（強さ）とソフト（やさしさ）の共生で未来を守る （Resilient-City）

災害レジリエンス

- 災害予測や災害状況の効果的な把握
- 災害関連情報の効果的な提供
- ドローンやセンサー等の活用によるインフラの老朽化対策
- データ連携基盤との連携による避難者数や道路通行データなどの収集及び提供など、防災分野のデータ流通促進
- LTE網を活用する次期防災情報共有システムの導入と不感地帯へのインフラ検討
- 都市情報のデジタル化・オープンデータ化と利活用の推進

カーボンニュートラル・脱炭素、ネイチャーポジティブ

- デジタル技術等を活用した脱炭素経営や脱炭素型ライフスタイルの推進
- エネルギーマネジメントシステムの導入推進
- グリーン×デジタルによる脱炭素関連技術等の創出・イノベーションの推進
- FSC認証に基づく森林整備や木材生産
- FSC認証林におけるカーボンクレジットの創出

モビリティ

- 医療サービスとモビリティの連携促進（巡回診療、遠隔診療・服薬指導、医薬品配送など）
- 天竜川水系ドローン航路の利活用促進
- 自動運転技術を活用したモビリティサービスの推進
- 移動データ等の利活用による地域課題の解決
- 交通利用に関わる省エネルギー化
- 有事を見据えたモビリティのサービス・デザイン

③データが導く暮らしやすさ （Liveable-City）

ウェルネス・医療・福祉

- 「予防・健康都市浜松」実現に向けた官民連携
- 健康情報を活用した生活習慣病等の予防・改善
- ヘルステックに関する情報発信・実証事業を通じたヘルスケア産業の創出
- 浜松市公式ヘルスケアアプリ「はままつ健康クラブ」を活用した市民の行動変容
- スポーツ分野におけるニーズとシーズを繋ぐプラットフォーム構築（「する」「みる」「ささえる」の相乗効果創出）
- オンライン活用によるスポーツ指導の機会拡大
- 従来のスポーツからeスポーツ等の新しいスポーツまで、誰もが一緒に楽しめる多様なスポーツの普及と認知度向上

教育・子育て

- ICT等を活用した子供や子育て世代への効果的な情報提供や相談体制の構築
- 教育DXの推進と教育データの利活用の施策横断的な実施
- デジタルツールを活用した個別最適・協働的な学びの体系的な充実
- 教育データ活用による子供一人一人に応じた学びやきめ細かい支援の充実

デジタル・ガバメント

- 医療・福祉・子育てサービスのデジタル連携促進
- フロントヤード改革（市民と自治体との接点の多様化・充実化）の推進
- 庁内データ分析基盤活用等によるデータに基づく課題解決の推進
- デジタルを活用した業務改革の推進
- デジタル変革人材（DXコアメンバー及びDXメンター）の育成

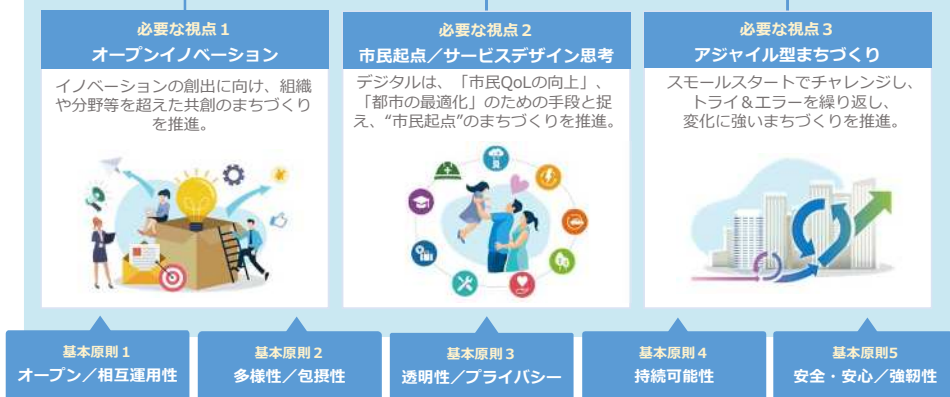
将来像

～ デジタルで“繋がる未来”を共創 ～

人口減少・少子高齢化やインフラ老朽化、コロナ禍の状況においてデジタルの力を最大限に活用し、「市民QoL（生活の質）の向上」と「都市の最適化」を目指し、デジタルで“繋がる未来”を官民で共創します。

目指す方向性（基本理念）

「市民QoL（生活の質）の向上」と「都市の最適化」



推進体制とエコシステム（好循環）

官民共創によるまちづくりを進め、「地域課題の解決」と「イノベーションや新たなビジネスを創出」するエコシステム（好循環）を形成します。



【推進体制】

- 「浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム」（PF）を中核に官民共創でデジタル・スマートシティを推進。
- PFは各分野の推進組織と連携し、分野間連携とデータ活用を推進。
- PFは民間主導のプロジェクトの創出を支援し、市民目線で地域のプラットフォーム及びコーディネーターの機能を担う。

【目指すエコシステム（好循環）】

- ベンチャー企業などから課題解決のアイデアやソリューションの提案を受け、実証実験を実施。
- 実証実験は「国土縮図型都市・浜松」の多様なフィールドを活用。
- 実行・検証・改善を繰り返し、社会実装へとつなげる。

市民は、実証実験への参加やサービスをj選する形で「市民QoL向上」に貢献。

企業は、地域課題の解決に貢献することでイノベーションや新たなビジネス創出の機会とする。

デジタルで“繋がる未来”の概観

デジタルの力を最大限に活用し、「課題解決型のアプローチ」と「未来に夢と希望を持てるチャレンジ」を組み合わせることで、ヒト・モノ・コトを繋ぎ、“繋がる未来”を創造します。

【文化・芸術】



デジタル活用で世界と音楽で繋がり、デジタル・音楽・芸術が融合した新たな文化を浜松から発信。

【健康・医療・福祉】



遠隔医療やIoTを活用した見守りでどこでも安心して生活。AI（人工知能）がデータに基づきお薦めの食事や運動を紹介してくれる、いつまでも健康に生活。

【教育】



世界の学校と繋がりオンライン留学。AIが自分にあった学習メニューを推薦。年齢に関係なく、誰でも多様な学ぶ機会があり、いつでもチャレンジ可能。

【社会参加】



高齢者や障がい者、外国人、女性、誰もがデジタル技術に支えられ、社会と繋がり、それぞれの力を発揮。



【産業】



ドローンやロボットの活用で省力化と生産性が向上。AIやビッグデータを駆使し、付加価値が向上した儲かる農林業が実現。

【移動・物流】



どこにいてもドローンで好きなもの・サービスがいつでも届く。免許を返納してもライドシェア（相乗り）や自動運転で自由にどこへでも移動。

【行政サービス】



スマホ1台でどこでもいつでも簡単手続。必要な情報は必要な時に届き、困ったときは、24時間、AIコンシェルジュ（案内人）が対応。職員の対面相談も選べる、便利で安心な市役所。

【防災】



センサーのデータやAI予測により危険を回避。被害を最小限に抑え、災害の状況もリアルタイムで可視化。大切な人や情報、支援に繋がりが安全・安心な社会を実現。

デジタルで“繋がる未来”のキーワード

- 人と人が繋がる（リモートでの見守りや面会、相談、帰省等）
- 社会と繋がる（高齢者や障がい者、外国人、女性等の社会参加をサポート）
- サービスが繋がる（遠隔教育、遠隔医療、遠隔鑑賞等）
- 都市部と地方が繋がる（リモートワークや多拠点居住の促進）

浜松市デジタル・スマートシティ構想

第一期（2020年度～2024年度）における重点取組分野

2020年度から2024年度の5年間で第一期と位置づけ、①本市の強みを活かした取組、②ウィズコロナ、ポストコロナのニューノーマルや安全・安心への対応、③課題解決型アプローチによる持続可能で包摂的な社会の構築に向けた取組、④推進基盤の構築や強化に重点的に取り組みます。

